
TEachOtherS 活用マニュアル

単一文章への コメント活動

一つの文章に各自でコメントして，全員でふりかえり

先生用



© 2025 徐 煉 / 張 曦冉 / 山口昌也

本書は、CC BY-NC-SA 4.0のもと、公開します。

まえがき

□ TEachOtherS とは

TEachOtherS は、グループでの作文や読解活動において、教師・学生を支援するためのシステムです。教師・学生は、PC やタブレット、スマートフォンの Web ブラウザから TEachOtherS のサーバにアクセスする形で利用します。TEachOtherS の主な機能は次のとおりです。

- 学生が Web ブラウザ上で文章を作成して、グループのメンバーと共有したり、互いの文章にフィードバックする（コメントやマークをつける）ことができます。
- 教師が、ユーザやグループの管理、活動フェーズ（文章の作成、フィードバック、グループ振り返りなど）の管理、活動データの配布などを行うのを支援します。

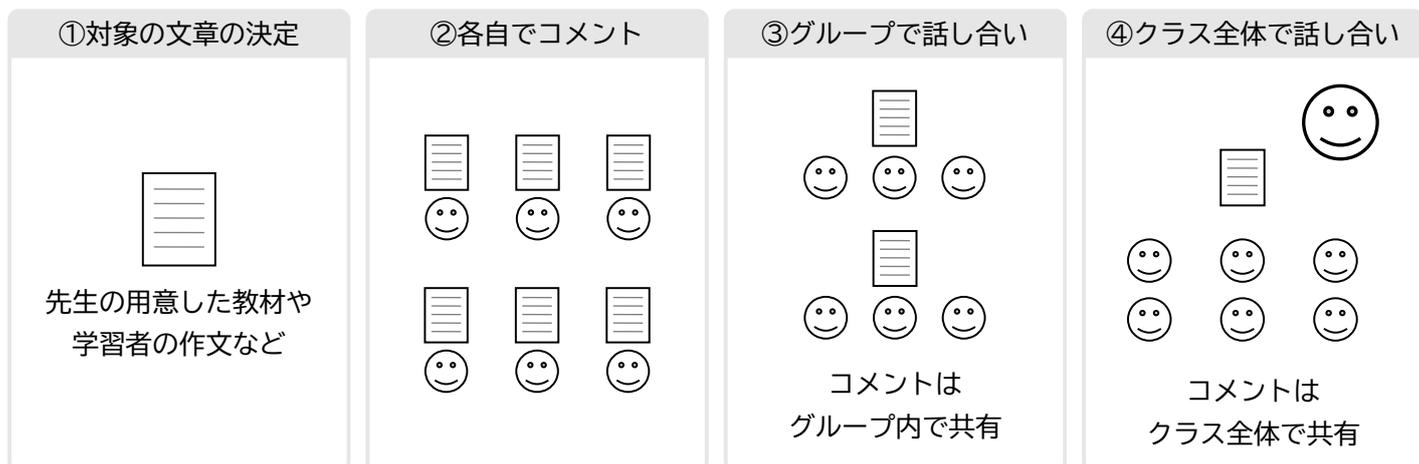
□ 単一文章へのコメント活動とは

単一文章へのコメント活動とは、グループで対象の文章を一つに決めて、全員がその文章にコメント付けを行い、その結果を共有・振り返りをする活動です。該当する活動にはさまざまなものが考えられますが、次の例を挙げておきます。

- 読解の授業で、全員が一つの文章を読んで、コメント付けしたあと、話し合う
- 作文の授業で、先生が作文例を示して、全員でコメント付けしたあと、話し合う

下の図は、単一文章へのコメント活動の一般的な流れを示したものです。個々のステップの説明を以下に示します。皆さんの活動に TEachOtherS が導入したり、新たに TEachOtherS を導入した活動を設計したりする場合の参考にしてください。

- (1) コメント対象の文章を決めます。先生が用意した教材や、特定の学生の作文が候補になるでしょう。
- (2) 活動の参加者全員が、対象の文章に個別にコメントをつけます。このとき、他人がつけたコメントは見えません。
- (3) 複数のグループに別れて、話し合いなどの活動を行います。各メンバーのコメントはグループ内で共有します。なお、このフェーズは必須ではなく、必要に応じて行います。
- (4) クラス全員分の授業で、先生を交えて、話し合いなどの活動を行います。このフェーズでは、クラス全員がコメントを共有します。



□ 本マニュアルで取り上げる活動

■ 活動の概要

本マニュアルでは、単一文章へのコメント活動として、クラス全員が、同じ教材用の作文を対象に、文章の構成や日本語の誤りに対して、コメントづけする活動を扱います。活動の流れは、前ページと同じです。コメントづけを行ったあとは、全員のコメントを統合して、全員で振り返りを行います。

■ メンバーとグループ

活動は、次のメンバーとグループの設定で行います。なお、TEachOtherS は 20 名程度までのグループ活動を想定して設計されています。

- 学生は太郎、次郎、三郎、花子、朝子、夕子の 6 名
- ユーザ X は、コメント対象の教材作文用のダミーユーザ
- グループは、「太郎、次郎、三郎」「花子、朝子、夕子」の二つ

■ 活動例

下の図は、グループ「太郎、次郎、三郎」全員のコメントを統合して表示した結果です。コメントをつけたい範囲に「コメントタグ」をつけます。今回は日本語の誤りの指摘なので、コメントを整理しやすくするために、次のような種別を設けています。下線の色はコメントタグの種別を表します。なお、この種別は、教師が定義することができます。

- 「表記」「文法」「語彙」「書式」「その他」
- 「論理」「構成」「根拠」「その他」

グループでの話し合いは、このようにコメントを統合した結果を元に行います。この作文の冒頭のように、複数のメンバーが同一箇所コメントすると、下線が重なって表示されます。また、画面右のコメント一覧では、コメントとともに、種別や、コメントした学生の ID が表示されます。

The screenshot shows a web browser window with the URL 'TEachOtherS - Top'. The main content area displays a document titled '自動車と地球温暖化' (Cars and Global Warming). The text discusses the impact of cars on the environment and mentions '電気自動車やハイブリッド車を普及しつつあります' (Electric and hybrid cars are becoming more popular). Several lines of text are underlined in green, indicating comments. On the right side, a comment list is visible, showing comments from '次郎' (二郎) and '太郎' (太郎) with their respective comment types (e.g., '構成', '書式', '文法', '語彙', '根拠').

目次

第1章 準備編	1
1.1 使用機器とソフトウェア	2
1.2 管理者用アカウントの取得	3
1.3 学生アカウントの作成	6
1.4 コメント対象の文章の準備	8
1.5 コメントタグの設定	10
1.6 学生用アカウントの配布	12
第2章 実践活動編	15
2.1 「各自コメント」フェーズ	16
2.2 「グループ振り返り」フェーズ	19
2.3 「全体振り返り」フェーズ	21
第3章 その他の機能	23
3.1 活動データのダウンロード機能	24
3.2 ユーザアカウントの「オプション」機能	26
3.3 「匿名」機能	27

第1章

準備編

実践で使用する使用機器やソフトウェア，管理用・学生用のアカウントの取得など，活動に入る前に必要な準備について説明します。

1.1 使用機器とソフトウェア

TEachOtherS は、Web ブラウザから利用するサービスです。そのため、以下の三つを用意する必要があります。

- PC, タブレット, スマートフォンなどの, インターネットに接続できる機器
- Web ブラウザ
- 管理者用アカウント申請用のメールアドレス (管理者のみ)

□ インターネット接続機器

後述の条件を満たす Web ブラウザが利用できるのであれば、PC, タブレット, スマートフォンなど、いずれの機器でも TEachOtherS を使用することができます。ただし、画面サイズが小さいと、実用的な難しかったり、表示や機能に制限が出る場合もありますので、活動の種類に合わせて、使用する機器を選択するようにしてください。なお、TEachOtherS を開発する際は、次の OS を考慮しています。

- Windows (10 以降)
- macOS
- Android (8 以降)
- iOS, iPadOS
- Linux (Ubuntu 22.04)

□ Web ブラウザ

TEachOtherS の推奨 Web ブラウザは、次のとおりです。特別な事情がない限り、最新バージョンを使用してください。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Safari
- Firefox

- iOS, iPadOS では、OS と Safari の更新が連動するため、OS を最新版にするようにしてください。
- スマートフォンのメーカーが独自に開発しているようなブラウザを使用している場合は、上記の推奨ブラウザのうちの一つを別途インストールするようにしてください。特に、留学生が自国で購入したスマートフォンを利用している場合は、注意してください。
- サポート対象をはずれたような古い OS (例: Windows7 や Android 6) を使用している場合は、最新版のブラウザがインストールされているか、確認してください。

1.2 管理者用アカウントの取得

教師は TEachOtherS を使った授業活動を運営するために、管理者用アカウントを取得する必要があります。管理者アカウントの取得には、メールアドレスが必須です。

□ アカウントの申請

(1) ブラウザから TEachOtherS にアクセスし、ログインページの下端にある「アカウントの作成」をクリックします。



(2) 「アカウント作成」のポップアップにメールアドレスを入力します。「送信」ボタンをクリックすると、入力したメールアドレスに管理者用アカウントの情報が送付されます。



□ 管理者用アカウントの受信

申請時に入力したメールアドレス宛に、管理者アカウントの URL、およびログイン時に必要となる「ID」と「オプション」の情報を含んだメールが届きます。

- 次回から、管理者はこれらの情報を使用して、ログインします。忘れずに保存しておいてください。
- これらの情報はパスワードに相当します。他人に知られないよう管理してください。

お知らせメールの例

Your TEachOtherS account has been created.
You can access your activity's console from the following URL.

URL: `https://teachothers.ninjal.ac.jp/xxxxx`
ID: (あなたのメールアドレス)
Option: XXXXXXXX

□ 管理者用アカウントへのログイン

メールアドレスに送付されたアカウント管理用の URL にアクセスすると、次のようなログイン画面が表示されます。受信したメールに指定された値を「ID」と「オプション」欄に入力し、画面の下端にある「ログイン」のボタンをクリックしてください。



管理者用アカウントのログイン画面は紫色です



ログインすると、次のような管理画面が現れます



□ ログイン関連の注意事項

■ 同一ブラウザでの複数ログイン

- 同一ブラウザで（複数のタブなどから）複数のログインを行うことは可能ですが、予期せぬ処理が行われる可能性があるため、行わないでください。特に、管理者が管理者用アカウントと学生用アカウントの両方を使用するときは気をつけてください。
- 同じ機器から複数のログインを行う場合は、別の種類のブラウザ（例：Chrome と Edge）を使うか、シークレットタブを使用してください。なお、複数のシークレットタブを使ってのログインも避けてください。

■ アカウントの自動ログアウト

- アカウントは、ログインして 12 時間後、サーバとのセッションが切れ、自動的にログアウトした状態になります。この場合、データの保存や読み込みなどができなくなります。
- この制限は、学習者がログインするときにも適用されます。実践を行う際は、編集内容の保存などを忘れないよう、学生に注意を促してください。
- セッションが切れた場合は、再度ログインする必要があります。ログイン用に指定された URL にアクセスし、再度ログインしてください。

1.3 学生アカウントの作成

TEachOtherS を使った活動に参加するには、アカウントが必要です。教師は活動前に学生用のアカウントを作成して、配布します。

□ ユーザ登録

(1) 管理画面の「ユーザ」タブを開き、「操作」メニューの「ユーザ登録」を選択します。

(2) 「登録するユーザを入力してください」の下にある空欄に、ユーザ名を1名1行で入力します。今回は太郎などの学習者6名の他、コメント対象の教材作文用のダミーユーザ X を追加しています。入力が終わったら、「OK」ボタンを押してください。

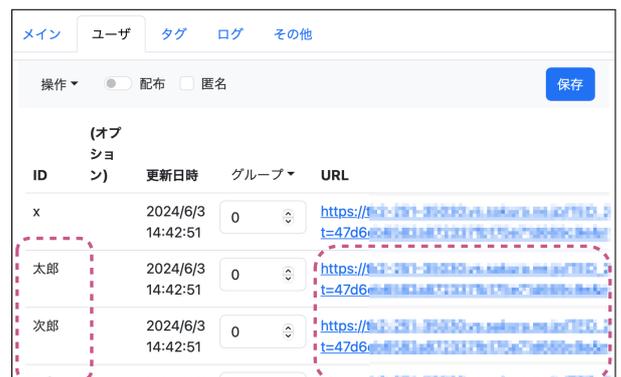


- ユーザ名はログイン時に入力する他、グループ活動でのユーザの識別に使います。
- ユーザの登録は何度も行うことができます。ただし、現在のところ登録情報の削除や変更はできません。変更したい場合は、新規にユーザを登録してください。

□ ユーザー一覧

ユーザ登録が完了すると、右図のようにユーザ情報の一覧が表示されます。

設定がすべて終わったら、これらのIDとURLを学生に配布し、そこにアクセスしてログインしてもらいます。配布方法は、このあとの節 (p.12) で別途説明します。



□ グループ分け

グループ分けは、ユーザー一覧の「グループ」列に0以上の数値を入れることにより、行います。今回は、次のように割り当てます。グループの番号は半角で、各ユーザのグループ欄に直接入力します。入力が終わったら、忘れずに「保存」ボタンを押してください。

なお、グループ分けの設定は実践前に行っておく必要はなく、グループ振り返りフェーズ (p.19 参照) に入る前までに行ってください。

グループ番号 0: X (教材作文用ユーザ)
 グループ番号 1: 太郎, 次郎, 三郎
 グループ番号 2: 花子, 朝子, タ子

「保存」ボタンを押すのを忘れずに！

ID	(オプション)	更新日時	グループ	URL
x		2024/6/3 14:42:51	0	https://tk-254-39030na.sakura.ne.jp/TES_3406w/6el...
太郎		2024/6/3 14:42:51	1	https://tk-254-39030na.sakura.ne.jp/TES_3406w/6el...
次郎		2024/6/3 14:42:51	1	https://tk-254-39030na.sakura.ne.jp/TES_3406w/6el...
三郎		2024/6/3 14:42:51	1	https://tk-254-39030na.sakura.ne.jp/TES_3406w/6el...
花子		2024/6/3 14:42:51	2	https://tk-254-39030na.sakura.ne.jp/TES_3406w/6el...
朝子		2024/6/3	?	https://tk-254-39030na.sakura.ne.jp/TES_3406w/6el...

授業の学生が多い場合やランダムにグループ分けをしたい場合など、自動でグループ分けしたい場合は、「URL」の左側にある「グループ」のプルダウンメニューを使ってください。選択できるグループ分けの方法は、「ランダム」、「上から順」、「なし」(グループ番号が全員0になる)の三つです。グループの数は、「グループ数」欄に数値を入れて指定します。

ID	(オプション)	更新日時	グループ	URL
x		2024/6/3 14:42:51	ランダム	https://tk-254-39030na.sakura.ne.jp/TES_3406w/6el...
太郎		2024/6/3 14:42:51	なし	https://tk-254-39030na.sakura.ne.jp/TES_3406w/6el...
次郎		2024/6/3 14:42:51	グループ数	https://tk-254-39030na.sakura.ne.jp/TES_3406w/6el...

- 自動で分割された場合も、「保存」ボタンを押す必要があります。
- 自動で分割後、手動で修正することもできます。

1.4 コメント対象の文章の準備

コメント対象の文章を指定するには、登録したユーザのうち、教師が一人を指定することによって行います。今回はダミーユーザ「X」の文章をコメント対象とするので、「X」をコメント対象のユーザとして指定します。コメント対象の文章は、「X」の文章として、教師が活動前に入力します。

□ コメント対象ユーザの指定

管理画面の「メイン」タブを開いて、「活動タイプ」と「フェーズ管理」欄を指定します。

今回は、下の図のように、「活動タイプ」は「単一文章へのコメント活動」、「対象ユーザ ID」は「X」、「フェーズ管理」は「文章作成」を指定しています。指定したら、「保存」ボタンをクリックします。

The screenshot shows a management interface with the following fields and values:

- Activity Type: 単一文章へのコメント活動
- Target User ID: X
- Phase Management: 文章作成
- Version: 1
- Home Page: URL

The 'Save' button is highlighted with a red dashed box.

- ウィンドウ下部の「保存」ボタンを押すのを忘れずに！
- 学生の作文を対象とする場合は、ダミーユーザではなく、学生の ID を指定します。

□ コメント対象の文章の入力

管理画面の「ユーザ」タブで、指定したいユーザの URL をクリックして、ログインします。今回の場合は、「X」の URL から TEachOtherS のログイン画面を起動し、ログイン画面の ID 欄で「X」と入力します。

ID	(オプション)	更新日時	グループ	URL
x		2024/6/3 14:42:51	0	https://t0-24-1f000a.nature.com/TEO_1406ev/t=47d6...
太郎		2024/6/3 14:42:51	0	https://t0-24-1f000a.nature.com/TEO_1406ev/t=47d6...
次郎		2024/6/3 14:42:51	0	https://t0-24-1f000a.nature.com/TEO_1406ev/t=47d6...




ID
X

(オプション)

ログイン

ログインした後、以下のようなエディタ画面が表示されます。教材用の文章は、ここに入力し、「保存」ボタンを押してください。今回はダミーユーザでログインしましたが、特定の学生の作文をコメント対象とする場合も同様の方法で、文章を入力できます。

[文章作成 - ver: 1]
☰ ⌚ 📄

← →
保存
タグ
段落
☰ ☰ ☰ ☰ ☰ ☰

自動車と地球温暖化

自動車から排気ガスは地球に大きな影響を及ぼします。多くの国では環境に優しい車を開発していて、電気自動車やハイブリッド車を普及しつつあります。しかし、完全にガソリン車を廃止するにはまだ多くの被害があると思う。政府は排気ガスの排出を規制する努力をしていますが、これもよくないことがあります。

テレビやインターネットで環境に悪い影響を及ぼす車の広告を制限するかどうかは、メディア企業の方針によって決めたが一般的です。

確か、広告が消費者の選択に影響を与える陪分は大きいですが、広告を見て環境に悪い車を買う人、買わない人、それぞれが自分の価値観で決定することが大切です。

- 文章は Word などで作成して、貼り付けても OK です。
- 編集内容が保存されていない場合、エディタ上部のタブのユーザ名に赤い線が表示されます。

1.5 コメントタグの設定

前書きで述べたとおり、コメントタグの種別は、教師が活動の内容に応じて定義し、TEachOtherS に設定することができます。TEachOtherS におけるコメントには、「個別コメント」と「全体コメント」の2種類があるため、それぞれについて設定します。個別コメントは、誤字や文法に対する指摘のように、文章の特定の部分に行われるコメントです。全体コメントは、文章の特定の範囲を指定しないコメントです。例えば、文章全体や活動全体などに対するコメントを想定しています。

□ 個別コメント用のタグの設定

(1) 管理画面の「タグ」タブを選択し、「個別」タブを開いてください。



- 個別コメント用のタグには、2種類（Category1, 2）のカテゴリがあります。各カテゴリには、8個のタグを定義できます。
- 1セットしか使わないようであれば、カテゴリ名の横のチェックボックスで無効にしてください。

(2) タグ名とカテゴリ名を記入してください。次の例では、カテゴリ名を「形式」として、前書きで述べた五つのタグを定義しています。定義が不要な欄は空欄にしてください。記入が終わったら、必ず「保存」ボタンを押してください。



- タグ名は、さまざまな場面で表示されるので、できるだけ簡潔に記述することをおすすめします。
- 表示例は、2.1.3 節『コメントづけ（個別コメント）』を参考にしてください。

全体コメント用のタグ設定

- (1) 管理画面の「タグ」タブを選択し、今度は「全体」タブを開いてください。デフォルトでは、「作文全体への注記」のスイッチはオンの状態になっているので、全体コメントを使用しない場合は、オフにしてください。

The screenshot shows the 'Tag' management interface. At the top, there are navigation tabs: 'メイン', 'ユーザ', 'タグ', 'ログ', and 'その他'. Below these, there are two sub-tabs: '個別' and '全体', with '全体' selected. A blue '保存' button is visible. A toggle switch for '作文全体への注記' is currently turned on. Below this, there is a section for 'n段階評価' with a dropdown menu set to '5'. Underneath are five input fields for '観点1' through '観点4', and a '(未設定)' field at the bottom.

全体コメントは、授業の終わりにしばしば用いられる「評価シート」のような位置づけで導入されています。

- (2) タグ名を記入してください。定義が不要な欄は空欄にしてください。各タグにはコメントの他、必要に応じて、n段階の評価値をつけることもできます。記入が終わったら、必ず「保存」ボタンを押してください。

This screenshot is similar to the previous one, but the '保存' button is highlighted with a red dashed box. Additionally, the 'n段階評価' dropdown (set to '5') and the '形式' and '内容' input fields are also highlighted with a red dashed box, indicating where to enter tag information.

- 実際の使い方は、「コメントづけ（全体コメント）」(p.18)を参照してください。
- デフォルトでは、「観点1」から「観点6」がタグ名として設定されています。画面表示の関係上、タグ名はできるだけ短くするのがよいでしょう。

以上で、TEachOtherS の設定は完了です。

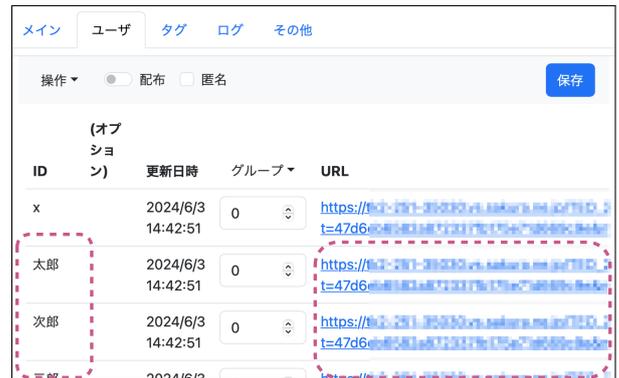
1.6 学生用アカウントの配布

設定が終わったら、学生にアカウントを配布します。次の二つの方法から適宜選択してください。

なお、使用する機器やブラウザの種類によっては、TEachOtherS が正常に動作しない場合があるため、実際の活動に入る前に、学生がログインできるか、確認する機会を設けることをおすすめします。

□ 方法1：個別に配布

管理画面の「ユーザ」タブを選択し、ユーザー一覧を表示してください。学生には、「ID」「URL」の情報をペアにして配布します。URL は長いため、メールや学内のCMS を介して、電子的に配布するとよいでしょう。



ID	(オプション)	更新日時	グループ	URL
x		2024/6/3 14:42:51	0	https://t-291-29533.vr.sakura.ne.jp/ID_x-t=47d6...
太郎		2024/6/3 14:42:51	0	https://t-291-29533.vr.sakura.ne.jp/ID_太郎-t=47d6...
次郎		2024/6/3 14:42:51	0	https://t-291-29533.vr.sakura.ne.jp/ID_次郎-t=47d6...
一般		2024/6/3		https://t-291-29533.vr.sakura.ne.jp/ID_一般-t=47d6...

- 管理者が配布できるユーザは、管理者が直接管理する教育活動の参加者である必要があります。詳細は、TEachOtherS の[利用規約](#)を確認してください。
- 学生にもアカウント情報を適切に管理し、SNS などを通じて、他人と共有することがないように、指導してください。

□ 方法2：一括して配布

ユーザ数が多いなど、個々の学生への配布が難しい場合は、TEachOtherS の「配布」機能を利用してみてください。この機能は、学籍番号など、各学生が必ず知っている文字列を ID に設定した上で、アカウント配布用の URL から個別のアカウント情報を取得してもらうというものです。

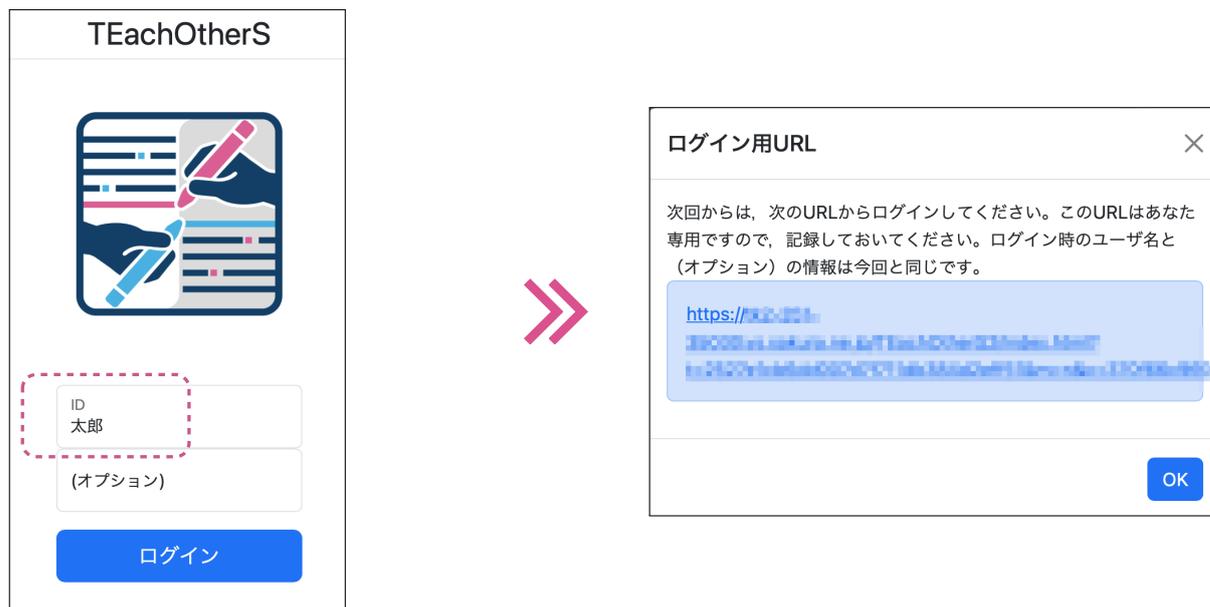
(1) 管理画面の「ユーザ」タブにある「配布」スイッチをオンにしてください。

(2) オンにすると、「配布」の部分に下線が現れ、配布用 URL へのリンクとなります。リンクをコピーして、学生に配布してください。



(次のページ続きます)

- (3) 学生は配布用 URL を開いて、ID を入力して、ログインすると、それぞれの学生のログイン用 URL が表示されます。学生は次回からこのログイン用 URL と ID を使ってログインします。



- (4) 配布が終わったら、忘れずに「配布」スイッチを OFF にします。なお、一度 OFF にすると、もう一度 ON にしても、新たな配布用 URL になり、古い配布用 URL は無効になるので、注意してください。

第2章

実践活動編

実践では、準備編で行った設定に基づき、学生のコメントづけ（各自コメント）、グループでの振り返り、クラス全員での振り返りを行います。教師は、これらの活動の管理を「フェーズ」の切り替えにより行います。

2.1 「各自コメント」フェーズ

このフェーズでは、学生が各自、評価対象となる文章にコメントします。教師は、TEachOtherSを「各自コメント」フェーズにし、学生にコメントづけ活動を始めるよう指示します。学生が各自の個人用アカウントからTEachOtherSにログインすると、評価対象の文章へのコメントづけ活動が始まります。

□ 「各自コメント」フェーズへの切り替え

管理画面の「メイン」タブをクリックします。このうち、活動タイプとフェーズ管理がそれぞれ「単一文章へのコメント活動」「各自コメント」になっていることを確認してください。もし、なっていないければ、変更して、「保存」ボタンを押してください。保存が完了すると、「各自コメント」フェーズに切り替わり、学生がコメントづけできる状態になります。

The screenshot shows a management interface with several tabs: 'メイン', 'ユーザ', 'タグ', 'ログ', and 'その他'. The 'メイン' tab is active. Below the tabs, there are several input fields and buttons:

- 活動タイプ**: A dropdown menu set to '単一文章へのコメント活動'.
- 対象ユーザID**: A dropdown menu set to 'x'.
- フェーズ管理**: A dropdown menu set to '各自コメント', which is highlighted with a red dashed box.
- バージョン**: A dropdown menu set to '1', with a '新規作成' button next to it.
- ホームページ**: A text input field with 'URL' as a placeholder.
- 保存**: A blue button at the bottom, also highlighted with a red dashed box.

フェーズ切り替えの操作は、すでにログインしている学生のフェーズを自動的に変更するわけではありません。学生がブラウザをリロードするか、再度ログインしたときに変更が適用されます。

□ 学生へのログインの指示

教師が活動のフェーズを「各自コメント」に切り替えた後、学生にログインするよう指示します。学生が自分のアカウントにログインすると、教師が事前にアップロードしたコメント対象の文章が表示されます。

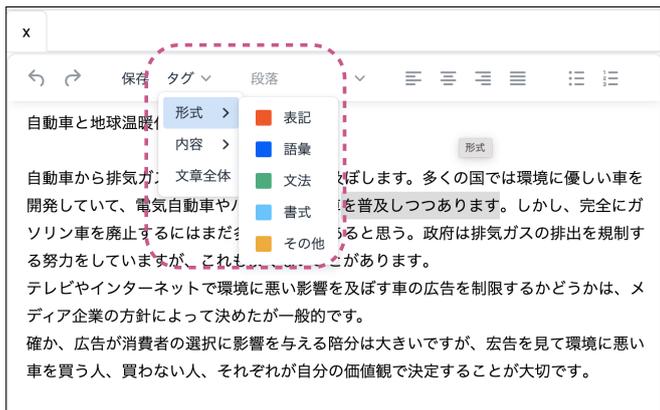
The screenshot shows a browser window titled '[各自コメント - ver: 1]'. The address bar shows 'x'. The browser interface includes navigation buttons (back, forward, home, refresh) and a search bar. The main content area displays an article titled '自動車と地球温暖化' (Cars and Global Warming). The article text discusses the impact of cars on the environment and mentions that governments are working to regulate emissions. Below the article, there is a comment box with a red 'X' icon, indicating that the user is not logged in or is not allowed to comment in this phase.

- ウィンドウ上部にはフェーズ名「個別コメント」、エディタのタブにはコメント対象のユーザ名の「X」が表示されます。
- 「個別コメント」フェーズでは、文章の変更はできません。

コメントづけ（個別コメント）

コメントの付け方

文章へのコメントづけするには、まず、コメントしたい箇所を選択し、「タグ」メニューからコメントタグを指定してください（左図）。すると、コメント入力用のウィンドウ（右図）が表示されます。「OK」ボタンを押すと、選択した箇所の文字に下線が引かれます。なお、同じ場所に重複して、コメントづけすることも可能です。



- 「タグ」メニューの1階層目は、前章（「個別コメント用のタグの設定」）で定義したカテゴリ、2階層目がコメントタグになります。
- コメントタグの種類によって、文章への下線の色が異なります。



- 入力フォームにコメントを入力してください。空欄の場合、コメントタグのみ付与されます。
- コメントタグを変更したい場合は、画面左のメニューから再選択できます。

コメントの修正と削除

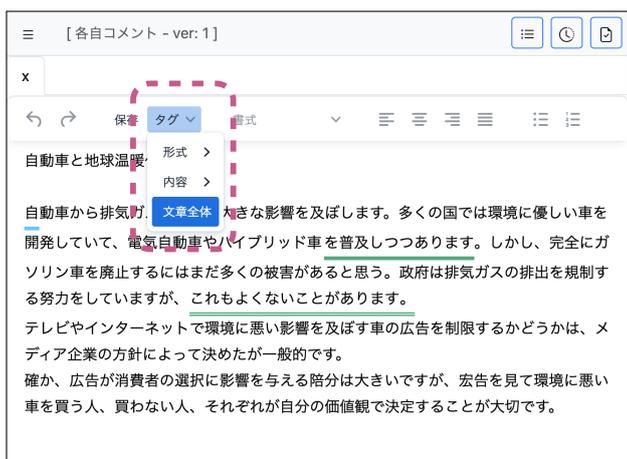
コメントを修正したい場合、対象のコメントの下線をダブルクリックすれば、上で説明したコメント入力用のウィンドウが表示されるので、そこで修正を行います。削除する場合は、ゴミ箱のアイコンを押してください。

なお、ウィンドウ上部（左図）の「≡」をクリックすると表示されるコメント一覧（右図）からも、修正・削除が可能です。一覧の「⚙️」（歯車のアイコン）をクリックすれば、コメント入力用のウィンドウが表示されます。



コメントづけ（全体コメント）

「全体コメント」は「個別コメント」と異なり、文章の特定の部分を指定しない、文章全体へのコメントです。全体コメントを付与するには、「タグ」メニューの「文章全体」（左図）をクリックすると、入力用のウィンドウ（右図）が表示されるので、そこから入力してください。「全体コメント用のタグ設定」（p.11）で設定したタグ一覧がウィンドウ左に表示されるので、個別にクリックして、評価値（画面上部のプルダウンメニュー）とコメントを入力します。なお、全体コメントをオフにしている場合は、「タグ」メニューに「文章全体」は現れません。



コメントの保存

コメントづけが終了したら、必ず「保存」ボタンを押すよう、学生に指示します。「保存」ボタンを押さないと、サーバにコメントづけ結果が記録されません。特に、別のフェーズに移行する前には、すべての学生が保存したかを確認してください。なお、コメントづけやコメントの編集を行ったにもかかわらず、保存していない場合は、左図のようにタブの上部が赤い状態になります。また、各学生の最終保存日時は、ユーザー一覧（右図）の「更新日時」欄で確認することができます。



ID	(オプション) 更新日時	グループ	URL
x	2024/6/3 15:35:42	0	https://x1-221-20830.ec.sakura.ne.jp/...t=47d(=e88f81ed712076717e71b)
太郎	2024/6/3 15:35:42	1	<a ...t="47d(=e88f81ed712076717e71b)</a" href="https://x2-221-20830.ec.sakura.ne.jp/...t=47d(=e88f81ed712076717e71b)</td> </tr> <tr> <td>次郎</td> <td>2024/6/3
15:35:42</td> <td>1</td> <td>
三郎	2024/6/3	1	https://x1-221-20830.ec.sakura.ne.jp/...

2.2 「グループ振り返り」フェーズ

「グループ振り返り」フェーズでは、「各自コメント」フェーズのコメントを、グループ単位で対象文章上に統合し、振り返りを行います。なお、「グループ振り返り」を飛ばして、次節の「全体振り返り」フェーズに進んでもかまいません。

□ 「グループ振り返り」フェーズへの切り替え

管理画面の「メイン」タブで「フェーズ管理」をクリックし、「グループ振り返り」に切り替え、「保存」ボタンを押してください。このフェーズでは、学生が個別に行ったコメントをグループ内で互いに閲覧できるようになります。グループの設定は、準備編（p.7）で行った内容が反映されます。

- 「各自コメント」フェーズで保存し忘れたコメントは、保存できなくなるので、フェーズの切り替えは慎重に行ってください。
- 「グループ振り返り」フェーズでは、学生は本文の編集はできないのはもちろんのこと、コメントづけもできません。

□ 学生へのフェーズ切り替えの指示

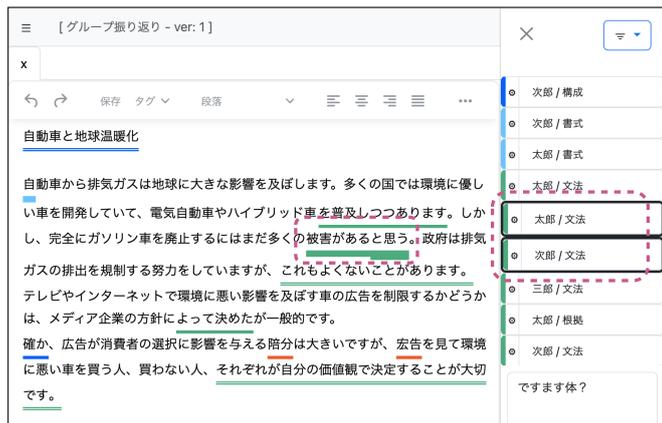
教師が行ったフェーズ切り替えを学生の TEachOtherS に反映させるために、ブラウザをリロードするよう学生に指示してください。次の図は、「グループ振り返り」フェーズにおける学生側での TEachOtherS の表示例です。このように、グループのメンバー（太郎、次郎、三郎）のコメントが統合されて表示されます。

□ 振り返りの支援機能

学生がグループでの振り返りを行う際に便利な機能を二つ紹介します。

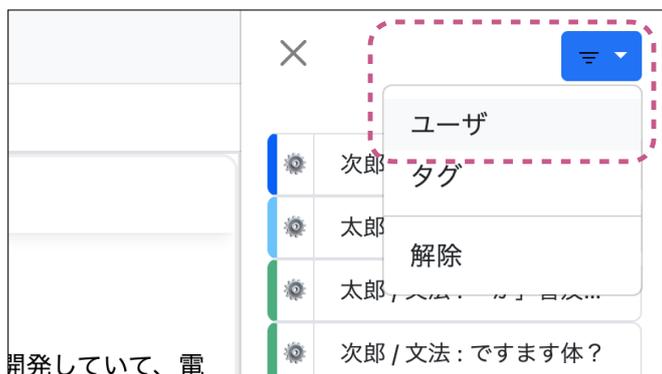
■ コメントの詳細の閲覧

文章中の下線をクリックすると、コメント一覧（画面右）の当該項目の外枠が黒くなります。下線が重複しているときは、複数の項目が対象になります。各項目の詳細を参照するには、「⚙️」（歯車のアイコン）をクリックしてください。



■ ユーザやコメントタグでの絞り込み

コメント一覧のメニュー（右上）から、ユーザやコメントタグで、コメントの絞り込みを行うことができます。次の例では、ユーザ「次郎」で絞り込みを行う例です。絞り込みを行うと、コメント一覧だけでなく、文章のほうにも反映されます。例では、「次郎」がコメントした場所のみ、下線が引かれます。絞り込みを解除するには、コメント一覧のメニューから「解除」を選択してください。



2.3 「全体振り返り」フェーズ

全体振り返りフェーズでは、クラス全員での振り返りを行います。このフェーズでは、先生も交えつつ、すべてのメンバーのコメントも踏まえて、振り返りを行います。

□ 「全体振り返り」フェーズへの切り替え

教師が管理画面の「メイン」タブで「フェーズ管理」をクリックし、「全体振り返り」に切り替え、「保存」ボタンを押してください。これにより、グループの設定に関わらず、クラス全体が一つのグループになり、すべての学生のコメントが対象文章上に統合されます。このフェーズでは、「グループ振り返り」フェーズと同様、学生は本文の編集はできないのはもちろんのこと、コメントづけもできません。

「各自コメント」フェーズから直接「全体振り返り」フェーズに移行する場合、保存し忘れたコメントは、保存できなくなるので、フェーズの切り替えは慎重に行ってください。

□ 「全体振り返り」フェーズの活動の流れ

「全体振り返り」フェーズを切り替えた後は、「グループ振り返り」フェーズと同様、学生へのフェーズ切り替えの指示を行います。前述のとおり、クラス全体が一つのグループとして扱われますが、振り返りの支援機能は、「グループ振り返り」フェーズと変わりありません。

第3章

その他の機能

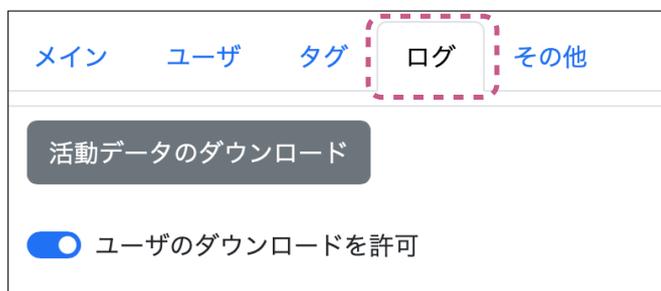
これまで章では、必要不可欠な機能のみを説明しました。本章では、活動の内容によっては必要になる機能として、活動データのダウンロード機能、ユーザアカウントの「オプション」機能、匿名機能を紹介します。

3.1 活動データのダウンロード機能

TEachOtherS で行った活動の結果は、「活動データ」として、教師や学生がダウンロードすることができます。ダウンロードした活動データには、コメント対象の文章のほか、学生が付与したコメントが含まれます。データの形式は、HTML なので、ブラウザで閲覧したり、(HTML の知識があれば) 必要なデータを抽出することが可能です。

□ 教師がダウンロードする場合

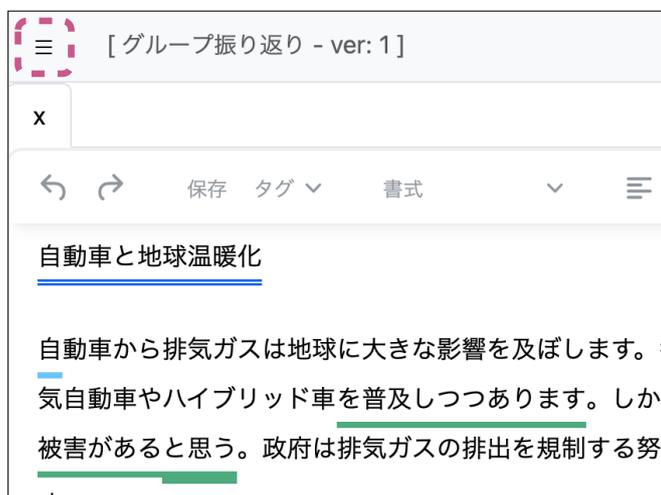
管理画面の「ログ」タブに切り替え、「活動データのダウンロード」のボタンを押してください。活動データが zip ファイル形式でダウンロードされます。利用方法は、このあとの節で説明します。



教師本人だけでなく、学生にもダウンロードの権限を与えたい場合、「活動データのダウンロード」ボタンの下にある「ユーザのダウンロードを許可」をオンにしてください。

□ 学生がダウンロードする場合

教師側で「ユーザのダウンロードを許可」(上図)をオンにしておくこと、学生側でも、画面左上「☰」→「活動情報」→「ツール」メニューの「活動データのダウンロード」から、活動データがダウンロードできるようになります。



□ ダウンロードしたファイルの使い方

ダウンロードされたファイルを解凍して、index.html ファイルを探してください（末尾の.html は PC 環境によって表示されない場合があります）。index.html をクリックすると、既定の Web ブラウザで、次のような画面が表示されます。

作文の編集やアノテーションの追加はできないなど一部の機能は制限されますが、データの閲覧機能については、サーバ上の TEachOtherS と大きな違いはありません。下図は、「フィルタ」機能を利用しているところです。

The screenshot shows a web browser window with a document titled "自動車と地球温暖化". The document content is as follows:

自動車から排気ガスは地球に大きな影響を及ぼします。多くの国では環境に優しい車を開発していて、電気自動車やハイブリッド車を普及しつつあります。しかし、完全にガソリン車を廃止するにはまだ多くの被害があると思う。政府は排気ガスの排出を規制する努力をしていますが、これもよくないことがあります。

テレビやインターネットで環境に悪い影響を及ぼす車の広告を制限するかどうかは、メディア企業の方針によって決めたが一般的です。

確か、広告が消費者の選択に影響を与える 陪分は大きい ですが、宏告を見て環境に悪い車を買う人、買わない人、それぞれが自分の価値観で決定することが大切です。

The right sidebar shows a filter menu with the following options:

- 個別 (selected)
- 全体
- フィルタ
- ユーザ
- アノテーション
- 解除
- 次郎 / 文法
- によって決められる?
- 次郎 / 語彙
- 確かに?
- 三郎 / 表記
- 部分?

- 教師がダウンロードした活動データには、すべての学生のデータが含まれます。
- 学生の場合は、ダウンロード機能を利用するフェーズによって、異なります。例えば、グループ振り返りでは、グループのメンバーのデータのみ制限されます。

3.2 ユーザアカウントの「オプション」機能

前章までの例では、学生がログインする場合、各ユーザには固有の URL を設定しているため、「ユーザ ID」のみでログインし、パスワードは使用していませんでした。もし、パスワードを設定したい場合は、ユーザ登録時に「オプション」機能を利用してください。このオプションを設定すると、学生はログイン時に「ユーザ ID」と「オプション」の両方を入力することになり、アカウントのセキュリティは向上します。

□ 「オプション」の設定

- (1) 学生のユーザ登録は、準備編で説明した方法と同様です。管理画面の「ユーザ」タブで「操作」メニューから「ユーザ登録」を選択します。
- (2) 「ユーザ登録」欄には、「学生のユーザ ID+ 半角カンマ + オプション」の形で入力してください（右図）。



The 'ユーザ登録' form has a title bar with a close button. Below the title, there is a text prompt: '登録するユーザを入力してください。' (Please enter the user to be registered.). A list of users is shown: 太郎,111; 次郎,222; 三郎,333; 花子,444; 朝子,555; 夕子,666. The list is enclosed in a red dashed box. At the bottom right, there are 'Cancel' and 'OK' buttons.

- (3) 追加されたオプションの情報は、「ユーザ」タブの画面において、「ID」の右列に表示されるようになります。学生「太郎」がログインする際は、右図のようにユーザ名とオプションを入力します。

The screenshot shows a table of users. The 'オプション' column is highlighted with a red dashed box. The table has columns for 'ID', '更新日時', 'グループ', and 'URL'. The data rows are as follows:

ID	(オプション)	更新日時	グループ	URL
太郎	111	2024/6/24 16:24:05	0	https://example.com/user/111
次郎	222	2024/6/24 16:24:05	0	https://example.com/user/222
三郎	333	2024/6/24 16:24:05	0	https://example.com/user/333
花子	444	2024/6/24 16:24:05	0	https://example.com/user/444
朝子	555	2024/6/24 16:24:05	0	https://example.com/user/555
夕子	666	2024/6/24		https://example.com/user/666

The diagram shows a hand holding a pencil writing on a document. Below this, there is a login form with two input fields: 'ID' containing '太郎' and '(オプション)' containing '111'. A red dashed box highlights these fields and the 'ログイン' button below them.

3.3 「匿名」機能

学生が「個別評価」フェーズでコメントづけなどを行うと、グループ振り返りと全体振り返りの際、注釈者名として、学生の「ユーザ ID」のままで表示されます。教育上、「ユーザ ID」が表示されるのが好ましくない場合、コメントの注釈者名を見えないようにする「匿名」機能を利用してください。

□ 「匿名」オプションの設定

「匿名」機能を利用するには、「ユーザ」タブの「匿名」オプションにチェックを入れ、「保存」ボタンを押してください。

「匿名」オプションをつけると、下図のように、コメントなどの注釈者名が「匿名」と表示されるようになり、学生間では注釈者が誰なのかわからなくなります。なお、ログインしているユーザ本人の注釈者名（この場合、「太郎」）は匿名にはならず、そのまま表示されます。

The screenshot shows the 'User' settings page. The 'User' tab is selected. The 'Anonymous' option is checked, and the 'Save' button is highlighted. Below the settings is a table with columns: ID, (オプション), 更新日時, グループ, and URL.

ID	(オプション)	更新日時	グループ	URL
x		2024/6/10 12:06:41	0	https://...
太郎		2024/6/10 12:06:41	1	https://...

The screenshot shows a comment interface for a group review. The comment text is: 「自動車と地球温暖化」 followed by a paragraph of text. The comment settings are visible on the right, and the 'Anonymous' option is selected.

Comment text: 自動車と地球温暖化
自動車から排気ガスは地球に大きな影響を及ぼします。多くの国では環境に優しい車を開発していて、電気自動車やハイブリッド車を普及しつつあります。しかし、完全にガソリン車を廃止するにはまだ多くの被害があると思う。政府は排気ガスの排出を規制する努力をしていますが、これもよくないことがあります。テレビやインターネットで環境に悪い影響を及ぼす車の広告を制限するかどうかは、メディア企業の方針によって決めたが一般的です。

Comment settings (Anonymous selected):

- 匿名 / 構成
- 匿名 / 書式
- 太郎 / 書式
- 太郎 / 根拠
- 太郎 / 文法
- 太郎 / 文法
- 匿名 / 文法
- 匿名 / 文法

